

平成30年度 峰小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

人間尊重の教育を基盤に、心身ともに健康で、自分の夢や目標のために自ら考え進んで行動できる心豊かでたくましく生きる児童の育成

(1)健康でたくましい子【元気】(2)よく考え進んで学ぶ子【やる気】(3)心豊かで、思いやりのある子【思いやり】

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

テーマ「地域に学ぶ学校づくり」

- (1) 児童が主役となる活動を意図的に設定し、児童が生き生きと生活する学校を目指す。
- (2) 児童の長所を引き出し、ほめて伸ばす教育を実践し、自己肯定感を高める。
- (3) 陽東地域学校園の教育ビジョンを念頭に、小中一貫教育を生かした教育活動の充実を図る。
- (4) 地域の資源・人材を積極的かつ有効に活用し、学校教育の充実を図る。
- (5) 重点項目を掲げ、学校・家庭・地域が一体となり重点活動に取り組み、教育目標の実現を目指す。
- (6) 具体的な目標値を設定し、評価者の評価等を踏まえ、具体的な改善策を講じて教育目標の実現を目指す。
- (7) 学校経営の重点目標を学年・学級経営計画や職員の行動規準表に反映させ、組織的な取組により、具体的な目標値の達成を目指す。
- (8) 評価を児童や教職員の意欲及び成果向上の道具(ツール)として生かす。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 子どもを生かす学校
 - ・ 自ら課題をもち、進んで行動できる児童の育成
 - ・ 基礎・基本の確実な定着を目指した個に応じたきめ細かな指導の充実
 - 学習意欲を高める楽しく分かる授業の実践と家庭学習の充実
 - ・ 児童が主役となる場の意図的な設定と、自己の成長を実感できる活動の推進
- (2) 組織を生かす学校
 - 教育専門職としての資質と能力の向上を目指した校内研修の活性化
 - ・ 組織マネジメントの考えに基づき、全教職員協働による教育目標の達成
 - ・ 学校業務の標準化を基本に校内業務の明確化、効率化、簡略化による意識的な働き方改革の推進
 - ・ ユニット部会を活用した教職員の学校経営への積極的な参画
 - ・ 教職員の専門性や特性が生かせる校務分掌や指導形態の工夫
- (3) 地域を生かす学校
 - ・ 地域協議会を窓口とした保護者や地域団体等の学校への積極的な参画の推進
 - ・ 地域団体との連携と地域資源の積極的な活用の推進
 - ・ 外部の学校評価等を活用し、地域住民が来校したくなる開かれた学校・地域とともにある学校の実現
 - 地域活動等への積極的な参加の奨励と相互理解の推進
 - ・ 地域の教育力を最大限に活用した働き方改革の推進

[陽東地域学校園教育ビジョン]

地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、心豊かでたくましく生きる子どもの育成

4 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【 学 校 運 営 】

- ・ 重点活動 [峰小 元気・やる気・思いやり活動] の推進
- ・ 全体で育てたい児童像…「自分の夢や目標を実現するために自ら考え進んで行動できる児童」

【 学 習 指 導 】

【やる気】「コミュニケーション能力の育成」＝しっかり話が聞けるかしこい峰っ子の育成

- 基礎・基本の確実な定着を目指した日々の学習とまとめの学習の充実、家庭学習の習慣化
- ・ 「できた」「分かった」が実感できる「分かる授業」の展開
- ・ 学んだことを振り返る活動の充実と振り返りを意識した学習展開の工夫

<p>○次の学習の準備, 返事, チャイムの合図の順守の徹底</p> <p>【児童生徒指導】</p> <p>【思いやり】「自ら考え, 適切な判断と行動ができる児童の育成」=感謝を忘れず, 周りの人を大切にするやさしい峰っ子</p> <p>○あいさつ運動の推進: 各種団体と連携したあいさつ運動の実施</p> <p>○読書活動の推進・充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルールやマナーを守る態度の育成: 「峰小よい子の一日」「陽東地域学校園児童生徒の目標」に即した指導の徹底 ・自己肯定感を高める声掛けの継続と互いの良さを認めあう場の設定 ・感謝する心や生命や人権を尊重する態度の育成: 感謝の会やいじめゼロ集会, 人権標語コンクールの実施, 道徳の授業の充実 <p>【健康(体力・保健・食・安全)】「生涯にわたり心身の健康保持増進を図ることができる児童の育成」=あいさつ・返事を頑張るいきいき峰っ子</p> <p>○進んで運動に親しみ, いきいきと生活しようとする態度の育成: 元気っ子チャレンジや各種検定への積極的な参加とミニマムの達成, あいさつ, 返事の励行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで運動に親しみ, いきいきと生活できる環境の充実: ジャンピングボードやドッジボールコートを設置 ・歯磨き指導(きらきらクラブ)の継続: 歯磨きボランティアの活用 <p>○視力低下を防ぐ「目の体操」「姿勢体操」の指導</p> <p>○望ましい生活習慣の育成: 「早ね・早起き・朝ごはん」の徹底と食育指導の充実</p>

5 自己評価(評価項目のAは市共通, Bは学校独自を示す。)

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は, 文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には, A拡充 B継続 C縮小・廃止, を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
学校運営の状況	<p>A1 学校は, 活気があり, 明るくいきいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私は, 今の学校が好きです」⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①学校行事や児童活動等で, 児童が自主的・主体的に取り組む場を意図的に設定する。特に, <u>あいさつ運動では, 児童の発想や主体性を生かし, 学校全体であいさつの気運を高めていく。</u></p> <p>②Q-U テストや学校生活アンケートを活用して, 一人一人の児童にとって居がいのある学級づくり, 分かる授業の展開に努める。</p> <p>③学級活動やロング昼休みを利用して, 学級全員で遊んだり教師と児童が共に遊んだりする機会をもつ。</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は93.4%で十分に達成している。地域学校園で同一日のあいさつ運動や, 児童会を中心としたあいさつボランティアの募集やあいさつリーダーの選出など, 主体的な活動を取り入れたことによりあいさつの気運に盛り上がりが見られた。学級担任は, 学級活動やロング昼休みを利用して, 教師を含む学級全員で遊ぶ機会を多くもつことができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>引き続き, 学校行事等の活動に教職員だけではなく, 児童の反省や意見を多く取り入れていく。</p>
	<p>A2 教職員は, 組織の一員として熱心に教育に当たっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生は大切なことを熱心に指導してくれる」⇒児童の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①児童の実態を考慮した, 創意工夫ある学年・学級経営を実践する。</p> <p>②全職員が学校経営に参画している意識を持ち, 学習指導・児童指導等の課題を共有するとともに, 組織的な指導体制のもとで同一歩調で指導に当たる。</p> <p>③校内研修の活性化, 一人一授業の実施等を通して, 一人一人の教員の授業力向上を図る</p>	B	<p>【達成状況】</p> <p>児童の肯定的回答は97.6%で十分達成している。全職員で児童の実態をよく把握し, 児童の良さを伸ばす指導・支援を行ってきた。また, 学習指導・児童指導等の課題を共有するとともに, 組織的な指導体制のもとで同一歩調で指導に当たることができた。</p> <p>【次年度の方針】</p> <p>引き続き, 情報や課題を共有し, 全職員で同一歩調で指導に当たる。一人一授業を効果的に実施し, 教員の授業力向上を図る。</p>

<p>A3 児童は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は、授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>①「学習のきまり」を掲示し、必要に応じて確認させるなどしながら、学習訓練を徹底させる。</p> <p>②「峰小よい子の一日」に基づいた生活目標を設定し、学級活動や朝・帰りの会等で繰り返し継続的に指導していくことにより、基本的な生活習慣を身に付けさせる。</p> <p>③「峰小よい子の一日」徹底運動を行い、めあてをもたせたり振り返りをさせたりして、自覚を深めさせる。</p>	<p>【達成状況】 地域住民の肯定的回答割合は昨年同様で100%となった。教職員、保護者は昨年度より上回り95%を超えた。児童も昨年度より5%上回り87.6%となり、数値目標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 学習のきまりや峰小よい子の一日徹底運動を継続し指導していく。さらに教師間の情報交換を密に行い組織的な学習児童指導を継続して行う。</p>
<p>A4 教職員は、分かる授業や児童にきめ細やかな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方の授業は、分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」⇒児童の肯定的回答85%以上</p>	<p>①<u>授業のめあてを明確にするとともに、板書や発問、授業形態等を工夫した授業を行う。また、終末には授業で分かったことを振り返る時間をもち、</u></p> <p>②児童一人一人の実態をとらえ、教材研究をするとともに、学校課題の研究や一人一授業等で積極的に授業を公開し、互いの指導法を向上させる。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答割合は97.9%と、数値目標を大きく上回るとともに、昨年度に比べて更に向上している。保護者の肯定的回答も、昨年度に続いて9割を超えた。</p> <p>【次年度の方針】 振り返りの時間の確保を意識して行ってきたので、継続する。学校課題研究や一人一授業への取組も引き続き実施し、指導法の向上を目指す。今年度一部見られた指導法などの自主公開を奨励する。</p>
<p>A5 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれる。」⇒児童の肯定的回答90%以上（いじめ解消率100%）</p>	<p>①いじめゼロ強調月間はもとより、あらゆる機会を通して、いじめが許されない行為であることを指導する。</p> <p>②アンケートや教育相談の結果を踏まえて、道徳や学級活動の時間に望ましい人間関係を醸成するための心情や判断力を育てる。</p> <p>③HPや学校だより・児童指導だより・学年だよりを利用していじめ対策や学校の現状を公表し、家庭・地域との連携を図る。</p>	<p>【達成状況】 教職員、地域住民の肯定的回答割合は100%となった。児童は98.5%と高い割合を示している。保護者も、肯定的回答割合が昨年度より10%上回り、87.6%となった。</p> <p>【次年度の方針】 「いじめ防止強化月間」「教育相談」を実施する。いじめ防止のためのアンケートを2か月に1回程度実施する。学級において道徳や学級活動などをはじめ全ての教育活動の中で、いじめは絶対許されないものだという心情を育てていく。また、ホームページや学校だより、児童指導だより、学年だより等を通して周知に努める。いじめのない学校づくりに教職員一丸となって取り組む。</p>
<p>A6 日課、授業、学校行事などの教育課程は、適切に実施されている</p> <p>【数値指標】全体アンケート「私の学校生活や様々な活動は充実している」⇒児童の肯定的回答80%以上</p>	<p>①授業時間の確保に努め、日課、授業、学校行事の前年度の反省や記録をもとに教育課程を実践する。</p> <p>②今年度の反省や記録を次年度に引き継ぐとともに、課題について話し合いや検討会をもち、より適切な教育課程を編成、実施する。</p> <p>③児童が主体となる活動の時間を確保し、内容の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は92.7%で十分に達成している。授業時間を確保するとともに、児童が主体となる活動を積極的に設け、内容の充実を図ってきた。</p> <p>【次年度の方針】 今年度の反省や記録を次年度に引き継ぐとともに、課題について話し合いや検討会をもち、より適切な教育課程を編成、実施する。</p>

<p>A 7 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、学校便りや学校公開などで、積極的に情報を発信提供している」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①授業参観、学校自由参観、親子活動、ボランティアの積極的な受け入れ等により、学校を保護者や地域に公開する機会を多く設ける。</p> <p>②学校だよりや学年だより、ホームページ等で積極的に学校の情報を発信、提供する。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は、97%、地域住民の肯定的回答100%で十分達成している。授業参観（祖父母の参加）、引き渡し訓練、学校自由参観、親子活動、感謝の会には、多くの保護者や地域住民が来校した。栽培委員会（児童会）では、栽培ボランティアと連携して環境に対する意識向上が図られた。日々の活動の様子をホームページや掲示物で発信してきた。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、学校開放を推進していく。学校だより、学年だより、ホームページ等による定期的な情報発信を行う。</p>
<p>A 8 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った学校づくりが推進されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」⇒保護者の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①企業、地域の各種団体「街の先生」、宇都宮大学、ボランティアなどとの連携・協力による活動をさらに充実する。</p> <p>②「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を密にし、学校運営の充実を図る。特に、地域コーディネーターと連絡・調整を図りながら、学校支援ボランティアの活用を図る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は95.1%で十分に達成している。年間を通して地域協議会、学校支援ボランティアが様々な活動を行い、児童の健康促進、安全確保、学習環境づくりを強力に支援した。また、外部団体、宇都宮大学生による算数ボランティア、英会話ボランティアを活用し、有益な研修会や効果的な授業実践を行った。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、地域協議会や学校支援ボランティアと連携し、地域とともに歩む学校づくりを推進していく。</p>
<p>A 9 校内は、学習にふさわしい環境となっている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、荷物や備品が整理整頓されるなど、学習しやすい環境である」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①教室内外の掲示物を整えるとともに、定期的にロッカーや机の中を整頓させるなどして、学習にふさわしい環境を維持する。</p> <p>②場所に応じた清掃の仕方の指導の工夫や班長への指導の充実を図り、縦割り班清掃を通して望ましい環境整備に努める。</p> <p>③長期休業等を利用して、特別教室や資料室の整備を行う。</p>	<p>【達成状況】 保護者、地域住民の肯定的回答割合は、それぞれ94%、100%で、数値指標を大きく上回っている。総合訪問前に行った掲示物の刷新、トイレ掃除の徹底、資料室の不要物品の廃棄などにより、環境が向上した</p> <p>【次年度の方針】 清掃分担箇所を交換する前に班長を集めて清掃の仕方を指導すると、清掃の仕方がさらに徹底すると思われる。委員会やクラブのコーナー掲示の定期的な更新には努力が必要である。児童の力で確実にできるように支援したい。</p>
<p>A 10 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「学校は、小学校と中学校が連携した小中一貫教育・地域学校園の取組を行っている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①交流授業や中学校訪問等を通して中学校進学に対する児童の不安軽減を図る。</p> <p>②学校園で統一して登校指導・お弁当の日・統一献立・学校保健委員会等を行うことで学校園間の連携を強化する。</p> <p>③「陽東地域学校園ナビ」活用して児童・保護者の陽東地域への所属感を高める。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は、86.5%で、十分に達成している。6年生では交流授業と中学校訪問を行い、進学への意欲を持たせることができた。特に、交流授業は、事前に中学校の先生と打ち合わせを行い、5教科（社・算・理・図工・英語）を実践した。児童も、中学校の雰囲気を感じ取り不安軽減に繋がった。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、学校園間の連携を強化していく。「陽東地域学校園ナビ」を配付・活用したりホームページなどで発信したりして児童・保護者の陽東地域への所属感を高める。</p>

	<p>A11 多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「多様な専門性を有する学校スタッフの活用により、教員の業務が縮減されている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①専門性や特性を生かした校務分掌を組織し、多様な専門性を有する学校スタッフ（学校図書館司書、ALT、かがやきR指導員、SC、日本語指導講師）と連携しやすい体制を整える。</p> <p>②校内業務の起案・実施にあたり、多様な専門性を有する学校スタッフと実施上のねらいや目的について共通理解を図り、効果的に活用しながら校内業務の効率化・簡略化を進める。</p>	<p>【達成状況】教職員の肯定的回答割合は、87.1%となった。多様な専門性を有する学校スタッフ（学校図書館司書、ALT、かがやきルーム指導員、SC、日本語指導講師）と連携しやすい体制を整えることができた。</p> <p>【次年度の方針】実施上のねらいや目的について事前に打合せをし、効果的に活用しながら校内業務の効率化を図る。</p>
	<p>A12 教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「教員は多様な専門性を有する学校スタッフと円滑なコミュニケーションが図れている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①多様な専門性を有する学校スタッフが十分に専門性を発揮して学校業務に参加できるように、事前に連絡や話し合いの場を設定する。</p> <p>②学校スタッフと学校業務の進展状況及び達成度を確認し、改善策等を共有していく。</p>	<p>【達成状況】教職員の肯定的回答割合は、96.8%で数値目標を大きく上回っている。事前・事後指導の場を設定することができた</p> <p>【次年度の方針】引き続き、学校スタッフと学校業務の進展状況及び達成度を定期的に確認し、改善策等をさらに共有していく。</p>
	<p>B1 児童は、峰小の合言葉「元気・やる気・思いやり」を意識して生活している。</p> <p>【数値目標】全体アンケート「学校は、『元気・やる気・思いやり』の合言葉を意識して生活するよう指導している」⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①峰小の合言葉を行事や活動のねらいに位置付け、意識化を図る。</p> <p>②行事や集会等で、合言葉に沿って児童が活動する様子を示すことにより、よりよい校風づくりを推進する。</p> <p>③学校便り・学年だよりに児童の活動の様子を掲載し、保護者への合言葉の周知を図る。</p>	<p>【達成状況】保護者の肯定的回答は93.4%で十分に達成している。学校行事や校内掲示物、学年だより等への関連記事掲載・写真挿入で「元気・やる気・思いやり」の意識化を図ることができた。</p> <p>【次年度の方針】合言葉に沿って学級目標を設定し、目標実現に向けて努力する様子を示すことにより保護者への合言葉の周知を図っていく。</p>
<p>教育活動の状況</p>	<p>A13 児童は、進んであいさつをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①あいさつを「今年度のテーマ」をして常に児童に意識させる。</p> <p>②あいさつ運動月間を設定するとともに、PTAや地域協議会、地域学校園等と連携したあいさつ運動を実施する。</p> <p>③教職員が率先してあいさつをする。</p> <p>④あいさつの効果や重要性について、道徳や学級活動の時間、全体朝会・一斉下校等を活用して指導する。</p>	<p>【達成状況】教職員、地域住民の肯定的回答割合は100%となり、児童も95.3%と高い割合を示している。保護者も昨年度より肯定的回答割合が6%上回り、84.2%となった。</p> <p>【次年度の方針】教師がまず範を示しながら、学校全体でよりよいあいさつをしていこうとする意識を高めていく。年に2回のあいさつ運動では、児童会を中心に「あいさつのめあて」を設定したり、児童が進んであいさつ運動に参加できる場を意図的に設定したりしてあいさつの輪を広げていく。更に、PTAや地域協議会、陽東中学校園とも連携しながら、率先してあいさつができるように粘り強く指導する。</p>
	<p>A14 児童は、正しい言葉づかいをしている。</p> <p>【数値指標】全体アンケート「児童は、時と場に応じた言葉づかいをしている」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①場に応じた言葉づかいについて、道徳や学級活動の時間、校外学習や学校支援ボランティアとの交流の機会等を利用して指導する。</p> <p>②日々の生活の中で教師が模範を示すとともに、特に目上の人への言葉づかいについて、機会をとらえて指導する。</p>	<p>【達成状況】教職員の肯定的回答割合は100%で、地域住民は90%を超えている。保護者は昨年度より4%、児童は5%程度上回り数値目標を達成できている。</p> <p>【次年度の方針】教職員が範を示すとともに、日頃の授業や学級経営などを通じて言葉づかいについて考える機会を設け、粘り強く指導していく。</p>

	<p>B6 児童は、自分の特徴や友達の良さに気づき、自他を尊重している。</p> <p>【数値目標】 全体アンケート 「自分は、自分や友達の良さに気づき、自他を大切にしている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①全ての教育活動の中で、自他の特徴や良さについて考えたり伝えあったりする時間を設ける。</p> <p>②人権を尊重し、いじめを許さない態度や実践力を育てる道徳の授業を、全学級、年1回は授業参観で実施する。</p> <p>③実態調査を、年に数回行うとともに、教育相談を行う。児童一人一人と向き合い、共感的理解を心がけるとともに、悩みを把握しその解決を支援する。</p>	<p>【達成状況】 教職員の肯定的回答割合は100%となった。児童、保護者ともに90%を超えている。</p> <p>【次年度の方針】 全ての教育活動の中で、自他の特徴やよさについて考えたり伝え合ったりする時間を意図的に設ける。さらに全職員による情報交換・授業交流などを通して全校体制で自他を大切に する指導を粘り強く指導していく。</p>
	<p>A15 児童は、進んで運動する習慣を身に付けている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、休み時間や放課後などに積極的に運動している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①スポーツ集会において、多様な運動を意図的計画的に実施し、基礎体力の向上に努める。</p> <p>②昼休みに共遊の時間を設けるなどして外遊びを奨励し、体を動かす楽しさを味わわせる。</p> <p>③「うつのみや元気っ子チャレンジ」に参加し、楽しみながら運動する機会を数多く持たせる。</p>	<p>【達成状況】 教職員・児童の肯定的回答は80%を超えている。業間や昼休みには、児童が校庭で遊ぶ姿が見られた。放課後も、留守家庭児童会や放課後子ども教室、帰宅後に学校で遊んでいる様子が見られた。</p> <p>【次年度の方針】 「うつのみや元気っ子チャレンジ」に参加し 休み時間の遊びにつなげる。体育の授業では サーキットトレーニングを実施し、運動への 関心を高める。</p>
健康・体力	<p>A16 児童は、栄養のバランスを考えて食事をしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は好き嫌いなく給食を食べている」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①家庭の意識を高めるために食育だよりを毎月1回発行するとともに、親子活動などで栄養士による食に関する学習会を行う。</p> <p>②児童の栄養に対する意識を高めるため、栄養士と連携した授業や栄養指導を行う。</p> <p>③ランチルームや各階廊下の食育コーナーを整備する。</p> <p>④給食週間やお弁当コンクールなどの食育行事に進んで参加するよう支援し、各自の望ましい食習慣の醸成を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答が93%でよく食べている様子が見られる。今年度は給食委員会がランチルームや各階廊下の食育コーナーを整備し、充実させた。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、食育だより等で給食の取組を保護者に発信する。また、児童には給食時計を使って時間の使い方を考えさせる。加えて給食週間等に自分なりのめあてを振り返る時間を設定する。</p>
	<p>B2 児童は、各種検定カード等をもとに、めあてをもって運動に取り組んでいる。</p> <p>【数値目標】 全体アンケート 「自分は、検定カードなどをとにめあてを決め、達成に向けて努力している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①新体力テストの結果から、課題を明確にし、スポーツ集会や教科体育の時間に計画的に補強していく。</p> <p>②各種検定カード・ミニマムを活用して各人に応じためあてをもたせ、教科体育や休み時間に取組を支援する。なわとび検定では、児童同士で技を伝達する機会を設け、さらに意欲・技術の向上を図る。</p> <p>③取組の様子を、「元気活動」として学校だよりや学年だよりで家庭・地域に知らせ、意欲の向上を図る。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答は88.7%と達成している。学校と家庭を往復できる検定カードを活用し、家庭の協力を得ることができているため、学校でも家庭でもめあてをもって運動に取り組むことができていた。</p> <p>【次年度の方針】 引き続き、児童にめあてをもたせ、取組を奨励していく。児童同士での教え合い高め合う機会を設けていく。特に、なわとび検定では、委員会活動による講習会を行い、意欲・技術の向上を目指す。</p>

	<p>B5 児童は、自分の歯に関心を持ち、食後丁寧に歯磨きをしている。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「自分は、食後ていねいに歯磨きをしている」⇒児童の肯定的回答 90%以上</p>	<p>①歯と口の健康に関する意識を高めるために、学校医や養護教諭と連携した授業や保健指導を行う。</p> <p>②保健だよりを毎月1回発行するとともに、むし歯のない児童や歯磨き名人を表彰して歯磨きへの意欲を高める。</p> <p>③保健委員会やボランティアを活用して、歯磨きの個別指導を実施する。</p> <p>④クラス全員での歯磨きをさらに徹底していく。</p>	<p>【達成状況】 肯定的回答は教職員100%、保護者89.9%、児童95.5%であった。学級では、給食後に歯磨きの音楽に合わせて、落ち着いた雰囲気歯磨きをしている。</p> <p>【次年度の方針】 各クラスでの給食後の歯磨き指導は、引き続き行い、個別の指導を充実させる。特に、きらきらクラブの活動では高学年が参加する日を設定する。</p>
学	<p>A17 児童は、進んで学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」⇒児童の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「話し方のきまり」を掲示し、児童が発言したり話し合ったりする際の参考にさせる。</p> <p>②授業の中に児童が考えたり話し合ったりする時間や自分の考えを発表する場を設け、児童が多様な考えをもち、主体的に学習に取り組めるようにする。</p>	<p>【達成状況】 児童の肯定的回答割合は91.7%で、数値指標を十分達成している。保護者の肯定的回答割合は昨年度より約5%上昇し、93.7%と高評価であった。</p> <p>【次年度の方針】 地域学校園統一「学習のきまり」を教室内に掲示し、学習指導に生かすことで、児童がより主体的に学習に取り組めるようにする。</p>
習	<p>A18 児童は、落ち着いて学習に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート 「児童は、授業中に先生や友達の話をよく聞くなど、落ち着いて学習している」⇒教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①授業の準備をしっかりするとともに、落ち着いて充実した授業が展開できるようにする。</p> <p>②「聞き方のきまり」「声のものさし」等を活用して授業態度を指導し、落ち着いた雰囲気歯磨きが進められるようにする。</p> <p>③チャイム着席や授業の準備などを徹底し、望ましい学習習慣の育成を図る。</p>	<p>【達成状況】 昨年度数値が低下したが回復し、教職員、児童の肯定的回答割合はそれぞれ100%、86.4%で、数値指標を大きく上回った。</p> <p>【次年度の方針】 次時の学習の準備、返事、チャイムの合図の順守の徹底を図ってきた成果が表れてきたが、学習準備については、学級間で差がある。礼をしたらそのまま次時の準備をするなど、足並みを揃えた指導が必要である。</p>
等	<p>B7 児童は、家庭学習の習慣を身に付けている。</p> <p>【数値目標】 全体アンケート「自分の子どもは、家庭学習(宿題)をしている」⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①「家庭学習の手引き」を活用し、家庭時間の目安や自主学習の例などを示して、児童が主体的に家庭学習に取り組めるようにする。</p> <p>②家庭学習に対して適切な評価をするなど、児童の意欲を高める工夫をする。</p> <p>③学年だよりやHP等で家庭学習の意義や期待される効果を取り上げ、保護者の協力を得る。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答割合は、87.9%で昨年度より上昇している。教職員、児童の肯定的回答割合は昨年度に続き90%を超えた。</p> <p>【次年度の方針】 「家庭学習の手引き」を活用するとともに、各学年で自主学習ノートや家庭学習記録カードを用意して、休日も含めた家庭学習の習慣化を図る。「家庭学習がんばり週間」では、「その日の授業内容をその日のうちに復習」を目標に掲げ、月ごとに、よく取り組めた児童を学級内で称賛し、意欲を喚起する取組を工夫していく。</p>
	<p>A19 児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している。</p> <p>【数値指標】 全体アンケート「児童は、地域でのボランティア活動や行事に参加している」⇒保護者・地域住民の肯定的回答 85%以上</p>	<p>①地域の人材、資源を活用した授業を実践し、児童の地域への関心を高める。</p> <p>②地域協議会や峰地区の地域団体と連携し、児童にボランティア活動や地域行事への参加を奨励していく。</p>	<p>【達成状況】 保護者の肯定的回答は69%、地域は92.3%で地域の数値目標は達成している。地域の人材、資源を活用した授業を実践し、児童の地域への関心を高めてきた。</p> <p>【次年度の方針】 地域協議会や峰地区の地域団体と連携し、学校だよりやホームページなどを通じて保護者へのボランティア活動や地域行事への参加を啓発していく。</p>

本校の特色・課題等	B3 児童は、読書の習慣がついている。 【数値目標】全体アンケート「自分は、楽しく読書をしている」⇒児童の肯定的回答80%以上	①週2回の読書タイムを確実に実施する。 ②読書ノート「みね読書人」の一層の活用を図る。 ③図書館だよりや「読書いっぱい活動」により、家庭と連携して「家読」を奨励する。	A 【達成状況】 昨年度に比べ、本の貸出数が約4000冊増加した。児童の肯定的回答割合は94%で、昨年度より上昇し、数値指標を大きく上回っている。保護者の肯定的回答割合は上昇したものの、77.4%にとどまっている。 【次年度の方針】 朝の時間の「読書タイム」を継続するとともに、読書ノートへの記入をその都度児童へ呼びかけ、記録を累積させる。家読については地域園学校と情報交換しながら取り組む。また、下学年の冊数を増やすために、担任による本の紹介の場を設定するなどしていく。
	B4 学校は、異学年・異校種間の交流や保護者・地域の方との交流により学校生活に潤いをもたせ、「来たくなる学校づくり」を推進している。 【数値目標】全体アンケート「自分は、異学年の友達や地域の方々と一緒に、充実した活動をしている」⇒児童の肯定的回答80%以上	①児童会活動や学校行事等において、縦割り班での活動積極的に取り入れる。 ②授業や委員会、クラブ活動などにおいて、幼稚園・保育園・中学校・地域人材との交流を積極的に行い、内容の充実を図りながら、児童との豊かな心情を培う。	B 【達成状況】 児童の肯定的回答は92.1%で十分達成している。「なかよしタイム」「なかよし給食」「縦割り班清掃」での異学年交流により望ましい関係が築かれ、児童が楽しく学校生活を送る姿が見られた。社会科や生活科の学習において、幼稚園・保育園児や地域の高齢者、また、保護者やおやじの会、地域人材を学校行事や授業等に招致したことは、充実した活動に繋がった。 【次年度の方針】 引き続き、縦割り班での活動を積極的に取り入れ、幼稚園・保育園・中学校・地域人材との交流の機会を確保し、「来たくなる学校づくり」を推進していく。

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

「学校運営」においては、A19「地域でのボランティア活動や行事への参加」（今年度追加）の保護者の肯定的回答を除き、他の評価項目では85%以上の高い肯定的回答が得られた。なかでも、A1「学校全体の活気・雰囲気」A2「児童のよさを認める指導」A4「分かりやすい授業ときめ細やかな指導」A6「教育課程の適切な実施」A7「情報の発信」A8「家庭・地域・企業等との連携協力」B1「峰小の合言葉を意識した生活」においては、教職員・保護者・地域・児童全ての肯定的回答が90%以上であった。さらに、A12「多様な専門性を有する学校スタッフとのコミュニケーション」（今年度追加）では、教職員の96%が円滑にコミュニケーションを図っていると回答している。これらのことから、学校経営の理念である目指す学校像「児童が生き生きと生活する学校」「児童の長所を引き出し、ほめて伸ばす教育の実践」「学校・家庭・地域が一体となった重点活動の取組」が着実に実を結んできたと考えられる。そして、陽東地域学校園教育ビジョン「地域の教育力を生かし、地域とのかかわりを通して、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」及び学校経営の理念テーマ「地域に学ぶ学校づくり」を、明るく生き生きとした雰囲気のもとで、教職員が指導力を生かし組織的に推進していることが分かる。しかし、A10「小中一貫教育・地域学校園の取組」では、教職員と地域の肯定的回答が100%に対して、保護者と児童がともに約86%と差が見られた。今後は、学校だより・学年だより・懇談会・ホームページで積極的に地域園学校園の取組と活動を紹介し、理解を求めていく。また、「陽東地域学校園ナビ」を活用したりホームページで発信したりして、保護者と児童の陽東地域園の所属感を高めていく。先述したA19「地域でのボランティア活動や行事への参加」についても、地域92%・児童87%に対して肯定的回答が保護者69%であることから、地域協議会・自治会・育成会・峰コミセンと連携し、学校だよりやホームページで情報を発信する機会を増やしていく。

以下は、本校の最重点活動である【峰小 元気 やる気 思いやり活動】の視点から考察をする。

「健康・体育」【元気】においては、A15「運動する習慣」の保護者の肯定的回答が72%であり、教職員より20%児童より16%も低い。これは、評価項目が休み時間や放課後の児童の様子であり、保護者にとって評価しづらい内容であることに要因があると思われる。しかし、B2「検定カードをもとにめあてをもった運動」の保護者の肯定的回答は88%と高い。これは、学校と家庭を往復できる検定カードを活用したことで、学校と家庭がめあてを共有できたからだと考えられる。学校は業間や昼休みの共遊を継続して奨励するとともに、体育の授業を中心に運動への関心を高める工夫をしていく。放課後の時間については、遊びや運動のめあてを学校・家庭・地域で共有できないか地域協議会に提案をしていく。A16

「栄養バランスを考えた食事」は、保護者と児童の肯定的回答が昨年度より10%以上向上した。これは、毎日行う給食指導や給食だより等による情報発信、食育コーナーの環境整備の成果が実を結んできたと考えられる。さらに、地域学校園共通の給食週間やマナー週間の実施、お弁当コンクールへの参加を通して食習慣の形成を図っていく。

「学習指導」【やる気】においては、上記A4以外にもA17「授業中に進んで話し合うなど積極的に学習」が教職員・保護者・地域・児童の全てで肯定的回答が90%以上であった。重点目標である「コミュニケーション能力の育成」を目指し、教職員が一人一授業を公開するなどして常に学習指導の工夫改善を重ねてきた結果が表れてきたと考えられる。次年度は、地域学校園統一の「学習のきまり」を教室内に掲示し、活用することで児童がより主体的に学習に取り組めるようにする。また、チャイム着席や休み時間の授業準備についても学級間で差がでないようにしていく。B3「読書の習慣」B7「家庭学習の習慣」では、教職員と児童の肯定的回答は90%以上だが、保護者の肯定的回答は読書が77%、家庭学習が88%であった。家庭と連携した「家読」は、地域学校園と連携を図り情報交換をしながら工夫して取り組むことで、家庭における読書習慣の定着を図っていく。家庭学習については、引き続き保護者の理解協力を得ながら、「家庭学習の手引き」「家庭学習記録カード」の活用や「家庭学習がんばり週間」を設定し、習慣化を図る。家庭学習における評価も適切に行い、児童の学習意欲を継続的に喚起していく。

「児童指導」【思いやり】においては、A3「授業と生活のきまりやマナーの順守」の肯定的回答が教職員・保護者が95%以上、地域が100%と高い。児童も昨年度より5%上回り87%であった。「学習のきまり」や「峰小よい子の一日」に基づいた指導の成果が着実に表れてきている。今後も、教師間の情報交換や家庭との連携を密に図りながら学習及び児童指導を行い、峰小学校の一員であるという自覚を高めていく。A5「いじめ対策」については、「学校はいじめを絶対に許さない」という認識のもと、全教職員が共通理解を図りながら指導をしてきた。その結果、児童の肯定的回答は98%と高い。保護者の肯定的回答も昨年度より10%上回り87%であった。また、B6「自他の尊重」の肯定的割合も児童・保護者ともに90%以上である。今後も、全ての教育活動の中で、「いじめは許されない行為である」ことを指導し続け、自他の特徴やよさに気付かせ自己肯定感を高めていく。そして、周りに感謝する心や生命や人権を尊重する態度の育成に努める。A13「時と場に応じたあいさつ」A14「時と場に応じた言葉づかい」では、児童と保護者の肯定的回答が昨年度よりともに向上した。これは、児童が進んであいさつをしたり、正しい言葉づかいをしたりすることができるようになったことを児童自身が自覚できたことやあいさつと言葉づかいが以前よりできるようになった児童の成長を保護者が感じ取ったことが大きいと考える。今後も、「あいさつ・返事を頑張るいきいき峰っ子」の合言葉のもと、教職員があいさつや言葉づかいの範を示しながら継続して指導をしていく。また、あいさつ運動については、児童会を中心に「あいさつのめあて」を設定したり、PTA・地域協議会・地域学校園と連携したりして実施し、あいさつの機運を高めるようにする。

6 学校関係者評価

「学校運営」について

- ・児童がよい環境の下で落ち着いて学校生活を送っていることが見て取れる。
- ・学校を訪問すると、児童は明るく元気に「こんにちは」のあいさつをしてくれる。児童の明るさと活気に、元気をいただいている。先生方も、いつも笑顔を絶やさない姿勢に頭が下がる思いである。
- ・学校全体に活気があり、明るいので学校運営は良好と思われる。教職員の児童への対応が非常に良い。
- ・担任の先生に憧れていて「こんな大人になりたいな」と思っている児童が多くなったと思う。
- ・ハッピーマンデーなど三連休が増えており、学校行事をこなしていくのは苦勞が多いと思う。前向きな児童が多い印象があり、高学年は頼もしい働きをしていると感じている。
- ・B1「峰小の合言葉」（元気・やる気・思いやり）は、校風作りに大変良い。これからも推進してほしい。
- ・A19「ボランティア活動の地域参加」は保護者肯定回答の低さが児童にも影響している。保護者と児童がともに地域活動や行事に参加できたらよいと思う。
- ・B4「異学年や地域との活動」の児童肯定回答が前年度より増えて、よい傾向である。

「健康・体力」【元気】について

- ・昼休みなど校庭で元気のよい声を出して遊んでいる児童が多く見受けられる。
- ・校庭や体育館で活発な運動をしている姿が見られ、極めて良好と思われる。
- ・学校ではスポーツ集会やチャレンジカードの活用で機会を多くしている。A15「休み時間や放課後などの運動」の保護者回答の低さは、放課後に遊ぶ機会がない児童であり、やむを得ない。
- ・児童に運動の目あてをもたせることは効果的。運動委員会児童のお手本など、身近にいる上手な児童の講習会はよい試みである。
- ・他校に比べても、先進的に取り組んでいる。このまま進めてほしい。
- ・すぐ疲れたという児童がいるので、もっと体力をつけてほしい。クラス対抗大縄跳び大会、マラソン大会など楽しんでできればよいと思う。

- ・児童の体力低下が気がかりで、何気ない日常の活動が大切である。休み時間や放課後等に積極的に運動してもらいたい。
- ・社会に出るには体が資本である。大勢の前で優劣が明示されるため、運動が苦痛になる児童は多いはず。時には、優劣を感じないで体力をつけられる自尊心を尊重した指導をしてもらえると嬉しい。
- ・学校給食は創意工夫がなされ、優しい味付けである。家庭ではあまり食べない物も学校給食では食べているようである。
- ・きらきらクラブの歯垢染めの参加が多いのでよいと思う。

「学習指導」【やる気】について

- ・各教室ともに、先生の工夫が感じ取れ分かりやすい授業がされている。児童の理解が深まっている。
- ・授業参観では先生の指導が適切で、児童が進んで意見を述べている。
- ・児童の自主性の問題であるが、努力している様子は分かる。
- ・A4「分かりやすい授業」、A17「積極的な学習」、B3「読書」の児童肯定的回答が90%はすごい。先生方は努力しているし、児童も分かっている。
- ・保護者も忙しいと思うが、児童の今の時間は今しかないので、もう少し関心をもってほしい。
- ・読書を薦めるために、いろいろな企画があったり図書室が居心地のいい所になったりしてよいと思う。
- ・校内は整頓されている。掲示板なども入れ替えがされていて、先生方の心配りを感じる。

「児童指導」【思いやり】について

- ・児童は子供同士の会話と大人に対する言葉づかいをきちんと使い分けている。先生方の指導が行き届いていると感じる。
- ・元気なあいさつがなされ、感じがよい。
- ・きまりやマナーを守ること、いじめについては外形的に出ていないので良好ではないか。
- ・基本的には素直な児童が多いように感じる。小さなトラブルはあると思うが、小学校はよりよい人間関係を築き社会へ出ていくための勉強をしているときだと思う。素直な児童が多いのは、先生方のきめ細やかな指導の賜物だと思う。
- ・学校の取組はとても評価できる。保護者や児童の感じ方は、同じ事案であっても感じ方、取り方で変わってしまうため難しい課題である。
- ・A5「いじめ対策」に関しての児童回答が98.5%はすごい。先生方の100%に安心できる。先生方がいじめ対策をしっかりしてくれているので心強く思っている。
- ・B6「自他を大切に尊重できること」は絶対に大切である。自分をまず認めることができ、友達を大切にできる。ぜひとも重視していただきたい。
- ・学校とPTA、地域が連携して指導にあたり、登下校など児童はしっかりと行動している。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

学校関係者皆様のご意見から、本校児童・教職員が温かく見守られていることが実感できた。今年度の評価を基に一人一人の児童がより充実した学校生活を送ることができるよう、個を生かす学年・学級づくり、分かりやすい授業づくり、学習環境の整備に引き続き努めていきたい。また、学校や児童の様子を保護者・地域に適宜発信したり、学校公開を進めたり、保護者・地域と課題を共有し役割を分担して対応したりするなどの連携を図り、地域ぐるみで児童を育てていこうとする機運をより一層高めていきたい。

次年度も学校運営の最重点活動である【峰小 元気・やる気・思いやり活動】を、今年度明確になった成果と課題を踏まえながら「チーム峰」としての組織力を発揮して全校体制で推進していく。

【元気】

- ・「健康でたくましい子」の実現活動として、「進んで運動に親しみ、いきいきと生活しようとする態度の育成」「望ましい生活習慣の形成」に努める。特に、望ましい運動習慣の形成や視力低下の防止については、家庭に情報を発信しながら連携して取り組む。食習慣の形成については、家庭を始めとし地域学校園とも連携を図り、食育指導を充実させながら取り組む。

【やる気】

- ・「よく考え進んで学ぶ子」の実現活動として、「基礎・基本の確実な定着」「学んだことを振り返る活動の充実」「家庭学習の習慣化」「学習準備、チャイム合図の順守」「読書の習慣化」の展開に努める。特に、授業において児童が学んだことを振り返る活動を意識した学習展開の工夫をしていく。さらに、地域学校園統一の「学習のきまり」を活用し、児童がより主体的に学習に取り組めるようにする。読書についても、家庭・地域学校園と連携し、「家読」を推奨していく。

【思いやり】

- ・「心豊かで思いやりのある子」の実現活動として、「あいさつ運動」の展開に努める。特に、あいさつを通して周りの人を大切にできる態度を育成する。あいさつ運動では、PTA・地域学校園と連携して実施していく。また、「峰小よい子の一日」に即した指導を行い、ルールやマナーを守る態度を育成するとともに、全教育活動の中に自他の良さを認め合う場を設定し、児童の自己肯定感を高めていく。

